

主権者としての意識を高める

6月14日、グリーンテージで主権者教室が行われ、3年生52人が参加しました。

講師は総務省主権者教育アドバイザーの布佐明彦さんで、選挙で投票する意義や候補者を選ぶ際のポイントなどを説明。生徒たちは、仮の候補者が掲げる公約と自分の持つ意見を比較し、グループワークで誰に投票するか議論を深め、その後模擬投票を行いました。

千葉翼さんは「自分の持つ1票を投票することの大切さを知りました。もうすぐ18歳になり、今年は選挙も多いので、今日学んだことを生かして積極的に社会参加をしていきたい」と話し、主権者としての意識を高めていました。



模擬投票をする生徒

全国植樹祭で学び深める

6月4日、陸前高田市で開催された第73回全国植樹祭に六角聖弥さん（3年）が本町参加団の一員として参加しました。

聖弥さんは、全国植樹祭がどのような影響力がある行事なのか知りたいと思い参加を希望。会場ではバイカツツジとノリウツギの植樹を行い、式典にも参加しました。「津波の被害があった陸前高田市で行われた植樹祭は、森林が海の保全にもつながっていることを実感する内容で、復興が進んでいることが全国に発信されていた。『伐って、使って、植えて、育てる』という森林資源の循環の大切さを自分も伝えていきたい」と、森林保全への学びを深めた様子でした。



植樹したノリウツギの苗木と会場の「おもてなし広場」に設置された木製のベンチ（聖弥さん撮影）



友情・団結  
クラスマッチ開催！

6月15日と16日の2日間、クラス対抗のスポーツイベント「クラスマッチ」が開催され、綱引きや球技などで競い合いました。

感染症対策の規制が緩和された今年は、マスクを外して声を出しての応援が可能となり、生徒たちははじける笑顔で歓声を響かせながら、友情と団結を深めていました。



卓球部の女子は、先



遠征先の宿でリラックスする卓球部の仲間

魅力が詰まった卓球部  
フィールドワークや中間調査など、忙しい毎日が続いている中、運動部が全国高等学校総合体育大会の県大会に出場してきました！  
それぞれの部がこれまでの練習の成果を発揮し、目標を達成するために頑張ってきました。私たち卓球部は団体戦は男女、個人戦は2名が出場しました。不完全燃焼な試合もあり後悔も残ってしまいました。この思いを次の大会につなぎ、成長し続けたいと思います。この大会で大好きな10人の先輩が引退してしまうのが本当に寂しいです。今まで先輩から受けてきた優しさを今後は後輩に渡していきたいです。

輩が引退すると2人だけになってしまいます。卓球部は全員仲が良く、毎日和気あいあいと活動しています。たくさんさんの魅力が詰まった場所なので、興味がある人、ない人も絞り出して見学に来てもらえたら嬉しいです！  
実は大会のとき、ホテルで話したり遊んだりしている時間も楽しいです。そうやって築いてきた友情や信頼が試合で活きてきます。先輩のかけこい背中を目指して頑張ります！

丸山晃奈（2年）  
好きな教科は英語、苦手な教科は数学です。高校生記者としてよろしくお願ひします！

高校生記者レポート